

ノリ海況速報 第11報 (2023-11)

令和6年2月9日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 東京湾水質調査 2/5 内湾 (ふさなみ), 2/3 内房 (ふさみ丸)

【水温・塩分の状況】

- 表層水温は湾奥が 9.5~9.8°C, 盤洲周辺が 10.1~10.3°C, 富津周辺が 11.0~11.3°C でした。表層塩分は湾奥が 32.1~32.2, 盤洲周辺が 32.5~32.7, 富津周辺が 32.8~33.1 でした。
- 沖合水は2月3日頃から 16°C 台の高水温水が明鐘岬付近まで進入しましたが, ノリ漁場への明瞭な影響はみられませんでした (図1, 2)。

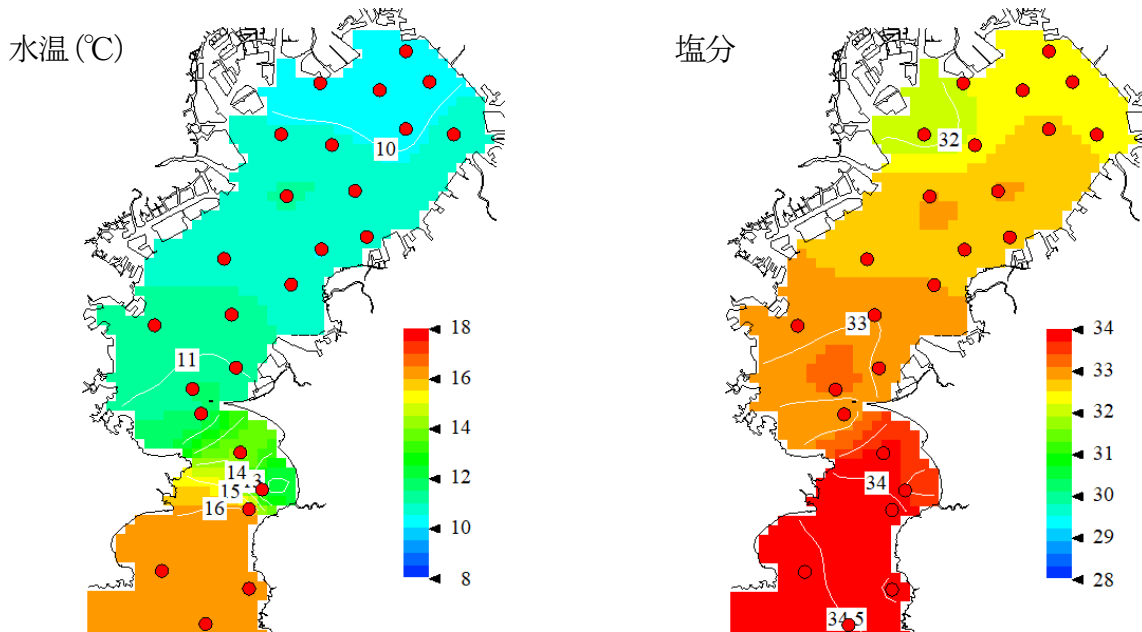


図1 表層の水温・塩分

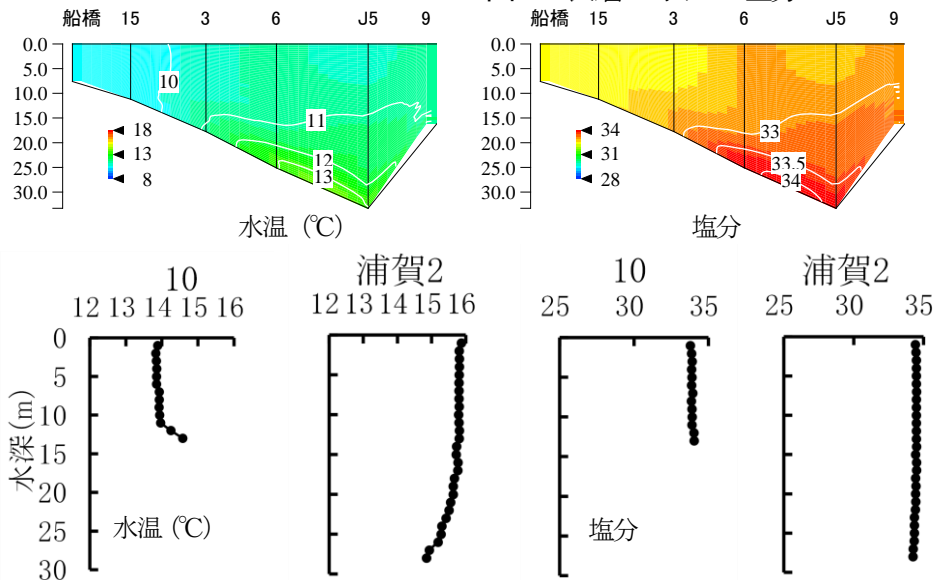


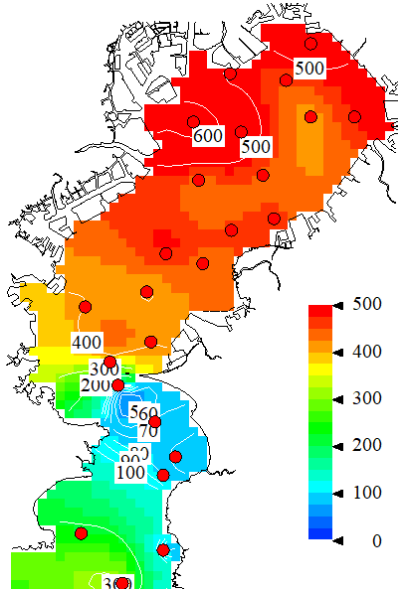
図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布
 上: 内湾, 下: 内房北部, 右: 調査ライン

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- 赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は珪藻スケルトネマ属、タラシオシラ属などでした。透明度は3.0～4.5 m でした。
- 栄養塩は窒素が湾奥で 450～540 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺で 430～450 $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺で 74～400 $\mu\text{g/L}$ 、リンが湾奥で 11～26 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺で 19～20 $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺で 9～22 $\mu\text{g/L}$ でした (図3)。
- ノリ漁場の栄養塩はいずれの海域でも窒素、リンともに高色調のノリの生産に必要なレベルを上回っていました。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上		
高色調のノリの生産に必要なレベル：		
窒素	110 $\mu\text{g/L}$	リン 8 $\mu\text{g/L}$
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：窒素 90 $\mu\text{g/L}$ リン 5 $\mu\text{g/L}$		

(DIN, $\mu\text{g/L}$)



(DIP, $\mu\text{g/L}$)

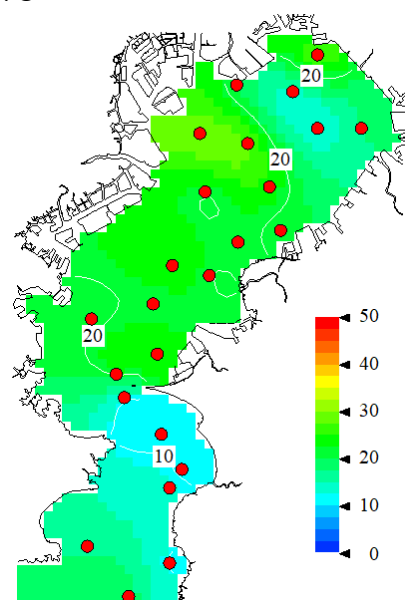


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場（三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南）について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生の目安（人工衛星画像）、各地の水温変化（モニタリングポスト）、沖合水の侵入の目安（潮位）、水温変化の目安（表層水温、底層水温分布）などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

パソコン：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html

